

## 多自然川づくり取り組み事例

タイトル : 「芹川かわまちづくり」における取り組みについて	
水系/河川名 : 大分川水系芹川	河川分類 : 中小河川
河川の流域面 73.8	整備計画流量 : 375m <sup>3</sup> /s
セグメント : M	
事業 : 環境整備	事業開始年度 平成31年度
目標設定 : 定量的	段階 : P(計画時)
課題・目的(主な) : 流下能力の確保、水際域の保全・再生・創出、水辺へのアクセス改善	
工法(主な) : 護岸整備、階段工の整備、管理用道路の整備、管理ルールの設定	
配慮事項(主な) : 河川景観への配慮、委員会、協議会等の開催	

## 背景・課題、目標設定

## ◆多自然川づくりを実施した経緯

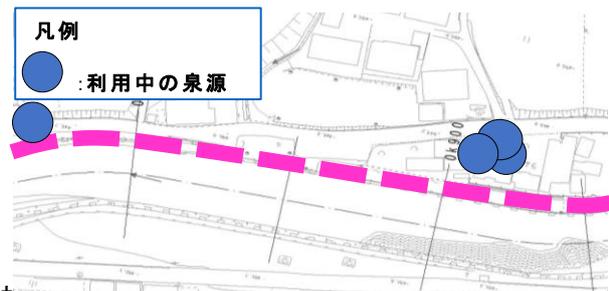
長湯温泉は、芹川のほとりに形成された温泉街であり、江戸時代より湯治場として愛されてきた。しかし、近年観光客は減少傾向にあるため、地元住民により長湯温泉街活性化検討委員会が設置され、新たなまちづくりにむけた活性化計画が作成されている。

こうした中で、竹田市は街なみ環境整備事業等にて温泉利用型健康増進施設整備、まちなみ再整備などを行っている。

長湯温泉街を貫流する芹川についても、竹田市のまちづくりの取り組みとあわせて、地域住民と一体的にかわまちづくりを推進することで、川と一体的となった長湯温泉街らしい景観を目指すこととした。

## ◆課題

- ・回遊性・親水性に乏しい。
- ・賑わいの場・イベントスペースが少ない。
- ・工事による泉源への影響。



## ◆目標

長湯温泉街と芹川が一体的となる河川環境整備を実施することで、河川敷に地域住民や観光客が乗り・交流することにより、河川空間が賑やかな癒やしの場となることを目指す。

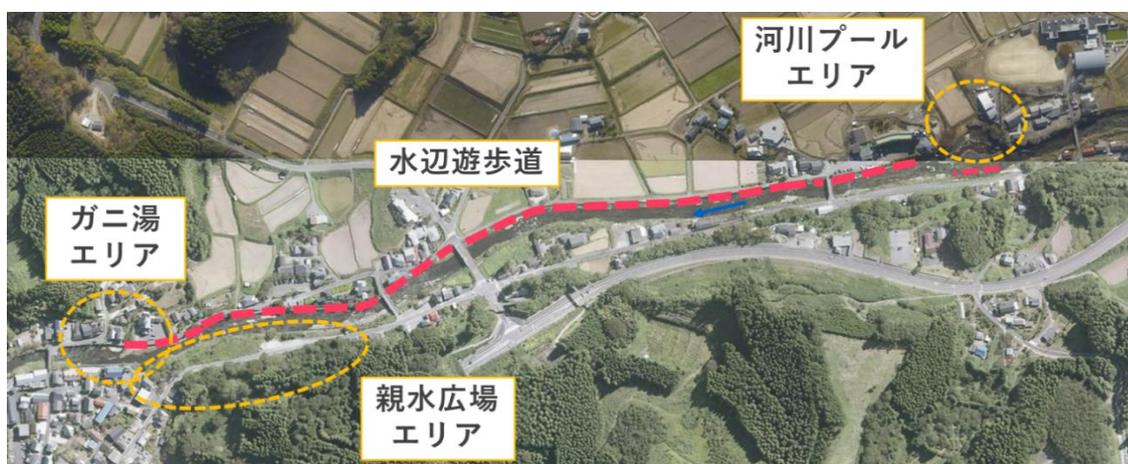
## 取り組み内容・対策例(1/2)

## 【ガニ湯エリア】

- ・温泉スケールを観光資源として活用。

## 【河川プールエリア】

- ・既存施設である河川プールの常時利用化。(河川空間のオープン化)



## 取り組み内容・対策例(2/2)

## 【親水広場エリア】

- ・温泉街に欠けているイベントスペース・賑わいの場を創出。
- ・流下能力の向上。

## 【水辺遊歩道】

- ・現在分断されているガニ湯エリアと河川プールエリア、新設する親水広場エリアをつなぐことで、長湯温泉街の回遊性を向上。
- ・施工予定箇所周辺には、多数の泉源が存在することから泉源への悪影響を考慮し、水辺遊歩道の施工については、岩掘削をしないアンカー式根固工を採用。

水辺遊歩道



親水広場



## モニタリング結果、アピールポイント、今後の対応方針

## ◆今後の対応方針

現在令和5年度の工事着手を目標に、計画を策定中である。ハード面での整備により、親水性・回遊性の向上を図りつつ、都市・地域再生等利用区域等の各種制度を活用し、地域を巻き込んだイベントの開催などソフト面での取り組みを行っていくことで、整備後継続的に賑わいのある場となるようにする。

## ◆アピールポイント

・新たに設定するウォータースライダー利用区間について、日本文理大学中西研究室と合同で実証実験を行った。今後、実証実験を踏まえたコース設定を検討していく。



実証実験の様子



事業区間最下流のガニ湯(川の中にある温泉)で体を温める

## 備考